

令和3年度 第2回西淀川区教育行政連絡会議事要旨（中学校）

日 時：令和4年3月1日（火）15:00～16:30

場 所：オンライン開催

出席者：（学校） 淀中学校・西淀中学校・歌島中学校・佃中学校

（区役所） 中島 区長

横内 こども福祉担当課長・山城 こども福祉担当課長代理

向井 保健福祉課担当係長・播谷 保健福祉課係員

○区役所より外国につながる子どもの教育施策について説明を行う。

○意見交換要旨

淀中：日本の教育制度について外国につながる子どもの保護者の理解を深めることは大変大事と思う。生徒を通じて案内を行うことはあるが、たぶんか進学セミナー等、実際に保護者が深く知れる機会があることは意義がある。たぶんか進学セミナーの開催時、最初は参加予定者がとても少なかった。様々な団体、場面で紹介を行うことで多くの参加者が集った経緯があり、関心を寄せてもらうには工夫がいる。

西淀中：たぶんか進学セミナーにおいて通訳は全席に付いたのか。外国につながる方に対して学校からの資料にルビ打ちされたものを用意するのは大変である。

区役所：全席に通訳がついた。大阪府教育委員会のHPにルビ打ちされた資料や多言語翻訳等の配慮された資料が多くあるので、それを活用するのも良いと思う。

区長：外国につながりをもつ子どもの発掘に尽力いただきありがとうございます。区内の企業においては人材不足で困っているところが多いが、外国人は安定した雇用となりにくいと思われる企業もある。一方で外国人雇用を使い捨てるようにしている企業もある。そのような中で外国人の方にとってステップアップしようと思われる時に成長するためのステップアップの機会を設けようと、西淀川工業協会と株式会社YOLO JAPANによって機会の提供が試みられている。保護者の方の生活基盤が安定すると子どもに対しても良い影響を与えるし教育に対しても関心を寄せていただけるようになると思う。貧困の連鎖の解消に繋がるため、このような活動を行っていききたいと思う。

○区役所より区役所が実施する学校教育関連事業について説明及び来年度の事業についても協力をいただけるようお願いを行う。

○意見交換要旨

淀中：アンケートにおいて、漢字検定に向けた勉強を行った生徒が少ないのは、試験前に勉強時間を学校で取れなかったためと思う。図書館には漢字検定に向けた参考書もあるが、生徒が検定に向ける時間がなかったように思われる。

佃中：当校で漢字検定に向けた勉強が少なかったのは、コロナによる変則的な授業や通常と異なる生活環境で検定に向き合える気運が欠けてしまったように感じる。

- 区長 : 学力が下位層の学生にとって漢字検定は自己肯定感の向上に繋がると思われるか。別の手段で一層自己肯定感が上がる取り組みはないか。
- 歌島中 : 役に立っていると感じる。国語科の先生が漢字検定をスケジュールに取り入れて、学習計画を立てることが大事になる。
- 佃中 : 当校も役に立っていると思う。検定試験の結果は教員にとっても学力結果を捉え、教育を行うやる気に繋がっている。

○区役所よりブロック化による学校支援事業について説明を行う。

学校経営戦略予算次長枠との連携について説明及び来年度の次長枠の執行案を示し、全出席者から承諾される。

○意見交換要旨

- 淀中 : 漢字検定を引き続き実施したい。に～よん模試は大変残念であった。来年度も実施に向けて検討していきたい。に～よん個別復習塾についてはPTA 実行委員会などで紙の説明だけでなく口頭でも保護者の方に伝えていきたいと思う。
- 佃中 : に～よん模試はPTAの方に尽力いただいた中であつたので大変残念である。本年度は2月10日に私学受験があり、受験に対する意識付けのためにも年度内で結果が返ってくることから来年度の実施日候補の1つではないか。またコロナの蔓延に左右されにくいように各校での受験にしても良いと思う。来年度もに～よん模試を実施したい。
- 歌島中 : 好文学園での一斉受験と各校での受験はそれぞれメリット・デメリットがある。西淀川区PTA協議会の協力を仰ぎ、西淀川区PTA協議会主催としているので、来年度に向けては早い段階で決定していくべきである。

○区役所より令和3年度の区民アンケート結果について共有を行う。

区民アンケートで、「西淀川区は教育環境や子育て環境が良いと思いますか」という質問に対して、18才未満の子を育てている世帯では約26%が否定的な回答をしている。その理由として学力が低いや治安が悪い等があり、連携して改善を図っていききたいと思う。

○区役所より令和4年度の学校協議会（会長との意見交換会）と教育行政連絡会の関連について説明を行う。

学校協議会と教育行政連会の体制及び役目を再共有した。昨年度の学校協議会会長との意見交換会での意見を紹介し、学校協議会においても意識して取り上げていただくよう依頼した。

○意見交換要旨

- 歌島中 : 当校の学校協議会は現状では意見交換を活発に交わす場となっていない。あまり学校と馴染みがない方よりも保護者や学校運営に対して意見を多く持つ、適した委員を選定したい。
- 区長 : 学校協議会は活性化させないと意味がない。歌島中学校の学校協議会を変えていく方針について賛同する。
- 西淀中 : 地域の協力や繋がりがあつたため、意見をあまり述べない方を一概に推薦しないことは出来な

いと思う。地域との軋轢にも注意が必要である。

区長：地域と学校の結びつきがどうあるべきなのかを学校で検討いただきたい。そのためには地域活動協議会会長さま等との意見交換も必要であると思う。私も意見交換を実施していくので、学校においても意見交換をしていただきたい。

歌島中：運営に関する計画に対して目標が2本の柱から3本の柱になったが、校長経営戦略予算の基本配付分の予算では達成するのが難しい。ブロック予算をそちらに充てることは出来ないだろうか。

区役所：現状では基本配付の枠内でやっていただくしかないと思う。個別具体的内容については、また相談いただきたい。

以上